

文京区の脱炭素社会実現への取組

1. 2050年「ゼロカーボンシティ」の表明

令和4年2月文京区議会定例議会区長施政方針において、2050（令和32）年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティを目指すことを表明しました。

区長施政方針（抜粋）

1.1

近年、これまで体験したことのない豪雨による災害や、猛暑等の異常気象による被害が、世界各地で発生しております。国際的な枠組みで取り組んでいる地球温暖化対策に区としても積極的に取り組むとともに、災害対策の充実・強化を図るほか、だれもが快適で、安全・安心な暮らしを送ることができる、都市基盤の整備を進めてまいります。

まず、環境保全については、区の二酸化炭素排出量の削減目標の速やかな達成を目指すとともに、文京シビックセンターにおいて、二酸化炭素を排出しない、再生可能エネルギー100%の電力を導入いたします。

さらに、地球温暖化対策には、区民や事業者の協力が不可欠であることから、区と契約する事業者へ省エネルギー等の環境に配慮した取り組みを促すなど、脱炭素社会に向けた機運を醸成するとともに、必要な支援を実施いたします。加えて、区内大学間の協力体制づくりを促し、取り組みの中で得られた知見等を区民へ還元することで、施策の実効性を高め、2050年までに、二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指してまいります。

2. 令和4年度重点施策

令和4年度より環境政策課が推進する重点施策の概要についてご紹介します。

2.1 脱炭素社会を目指す「クールアース文京都市ビジョン」実現への地域全体での取組による推進

(1)

事業概要

令和2年3月に改定した「文京区地球温暖化対策地域推進計画」に掲げた区が目指すべき将来の社会の姿である、脱炭素のまちを目標とした「クールアース文京都市ビジョン」を実現するためには、区の二酸化炭素排出量の半分以上を占める民生（業務）部門の取組が必要不可欠です。（図1-1、図1-2参照）そのため、脱炭素社会を目指すことに賛同する事業者とともに、気候変動対策に関する取組を一層推進していきます。

図 2-1 部門別の二酸化炭素排出量
(電力排出係数固定)

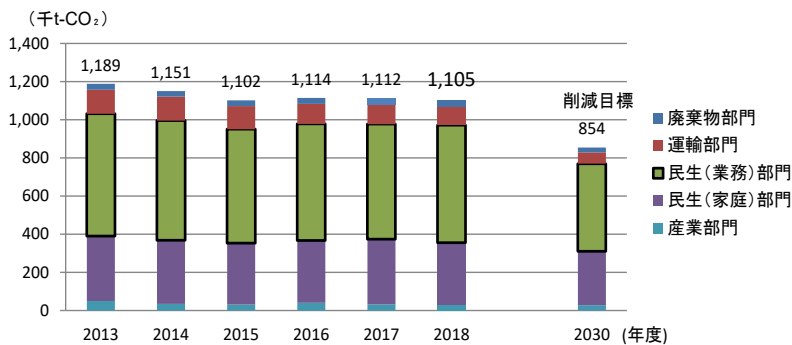
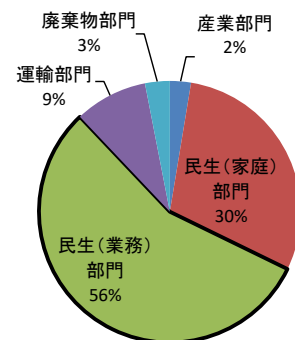


図 2-2 部門別の2018年度二酸化炭素排出割合 (電力排出係数固定)



出典：「温室効果ガス排出量算定手法の標準化 62 市区町村共通版（オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」）」より作成

事業内容

- ① 「文京区地球温暖化対策地域推進計画」に掲げた「クールアース文京都市ビジョン」や脱炭素社会を目指すことについて賛同する事業者等を募り、事業者が実施する取組や効果等を協議会で共有、発信等を行います。賛同を得た事業者の具体的な取組を「見える化」し発信することで、他の区内事業者への啓発、取組を促進します。
- ② 区と契約する事業者へ、省エネルギー対策等につながるチェックリストを提供し、環境に配慮した取組を促します。あわせて、「中小規模事業所向け省エネルギー診断」等の活用を勧奨します。チェックリストで省エネ対策を確認することで、事業者が効果的な省エネ手法と経費削減効果についての認識を促し、自発的かつ継続的な取組のきっかけづくりとしていきます。

事業効果

将来的な脱炭素社会の実現に向け、事業者等が気候変動対策に関する区のビジョンや目標について認識を共有することで、区や他の事業者等とともに取り組んでいく一体感や機運が醸成され、地球温暖化対策成果の積み上げが期待できます。

(3)

シビックセンターにおける再生可能エネルギー電力の導入

事業概要

- 2.2 令和2年3月に改定した「文京区地球温暖化対策地域推進計画」において示すとおり、地球温暖化対策の
- (1) 取組については、区の二酸化炭素排出量の約半分を占める業務部門の削減が重要です。

区は、一事業者として、別に定める「文京区役所地球温暖化対策実行計画」に則り、二酸化炭素排出量の削減につながる実効性のある施策を率先して展開しなければならないため、その一環として、文京シビックセンターへ再生可能エネルギー100%の電力を導入します。

事業内容

- (2) 区のすべての事務事業で発生する二酸化炭素のおよそ30%を占める、文京シビックセンターの電力について、今後、地球温暖化対策への取組を更に進めるため、二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギー100%の電力への切り替えを行います。

事業効果

- ① 「文京区役所地球温暖化対策実行計画」に掲げる二酸化炭素排出量削減目標の実現に向けて、区自らが具体的な脱炭素への取組を推進することで、区民や事業者の環境負荷低減に対する意識の向上を図り、再生可能エネルギーの普及に繋げていきます。
- ② 文京シビックセンターの年間電力使用量(約860万kWh)に係る二酸化炭素排出量(約4,000トン)を実質ゼロとすることができます。

今後、『脱炭素社会を目指す「クールアース文京都市ビジョン」実現への地域全体での取組による推進』(2.1(2))において、ご賛同いただける事業者の皆様を募集いたします。文京区地域医療連携推進協議会の皆様におかれましても、文京区の「文京区地球温暖化対策地域推進計画」に掲げた「クールアース文京都市ビジョン」や脱炭素社会を目指すことについて賛同のご協力をお願いいたします。

【担当】

文京区資源環境部環境政策課長 渡邊 了

03-5803-7111 (内線3101)

文京区資源環境部環境政策課地域環境係長 関根

文京区資源環境部環境政策課地域環境係 内田、石岡

03-5803-1276